

日露芸術文化交流・
次世代教育交流事業

グレゴリー・セドフ ピッコロ・ヴァイオリンが歌い・踊る 2019 - Music for All -

筑波大学附属視覚特別支援学校音楽科の卒業生で、
海外でも活躍している音楽家の皆さんとロシアの音楽家
グレゴリー・セドフ、ユーリー・コジェバートフとの交流事業。
パラリンピックに続き、芸術文化を通して自己実現、社会参画する
皆さんを応援します。心にしみいる演奏をお楽しみ頂きます。



グレゴリー・セドフ

【出演】

グレゴリー・セドフ (ヴァイオリン、ピッコロ・ヴァイオリン)
ユーリー・コジェバートフ (ピアノ)
松山実紗子 (ピアノ) 川端みき (ソプラノ)
網川泰典 (フルート)

〈合唱〉合唱団白樺：井澤武二 (指揮) 石川真澄 (ピアノ)
上田喬子 (筑波大学附属視覚特別支援学校音楽科卒業生)
北原新之助 (筑波大学附属視覚特別支援学校音楽科卒業生) 他
箕輪健太 (合唱指揮)

【プログラム(予定)】

ラフマニノフ：ヴォカリーズ
マスカーニ：「カヴァレリア・ルスティカーナ」よりアベマリア
ガーシュイン：オペラ「ボギーアンドベス」よりアリア
カールマン：「チャールダーシュの女王」より
会津磐梯山、ねむの木の子守歌、ふるさと、雲のかなた他
※やむを得ない事情により、出演者、内容に変更がある場合は、ご了承下さい。

世界の巨匠たちが絶賛!!

「彼のピッコロヴァイオリンの活動は、世界の音楽芸術分野に
多大な貢献をもたらすだろう。」

サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団首席指揮者
ユーリ・テムルカーノフ

「彼は最小のヴァイオリンを弾く偉大な芸術家だ」
M. ロストロポーヴィチ (チェリスト、指揮者)



ユーリー・コジェバートフ

松山実紗子

川端みき

網川泰典

2019年6月18日(火) 18:30 開場
19:00 開演

オリンピック記念国立青少年センター カルチャー棟 小ホール
渋谷区代々木神園町3-1

◆アクセス

参宮橋駅下車 徒歩約7分。目の前に停車する京王バスが便利!
新宿駅西口(16番)より、渋谷西口(40番)より代々木5丁目下車

【主催】ピッコロヴァイオリン研究会、NPOちぎゅう市民クラブ、K & Associates International

【協力】筑波大学附属視覚特別支援学校音楽科、全国盲学校音楽科設置校研究協議会

【協賛】株式会社ファバラ

【後援】ロシア連邦文化省、ロシア連邦交流庁、在日ロシア連邦大使館、ロシア文化フェスティバル組織委員会

自由席 一般前売: 3,500円
当日: 4,000円 寄付付き: 5,000円

◆チケットお問合せ

K&A (kaikk@sky.plala.or.jp / TEL: 03-5500-0381)

◆取り扱い

カンフェティチケットセンター (0120-240-540)

◆WEB予約

<http://confetti-web.com/singsingsing2019>

<https://grigorysedukh2019618.peatix.com/view>

